

『ウッドデザイン賞2021』最優秀賞（農林水産大臣賞）をはじめとした上位賞25点が決定！ 新たに日本ウッドデザイン協会も設立します!!



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2021

最優秀賞（農林水産大臣賞）は「URASHIMA VILLAGE」（(株)金丸工務店ほか／香川県三豊市）に決定。
12月8日（水）に、環境展示会「エコプロ2021」の特設ステージにて表彰式を開催します。
また、同日には異業種連携による新法人「(一社)日本ウッドデザイン協会」（会長：隈 研吾）の設立も発表。

2021- 11
PRESS RELEASE

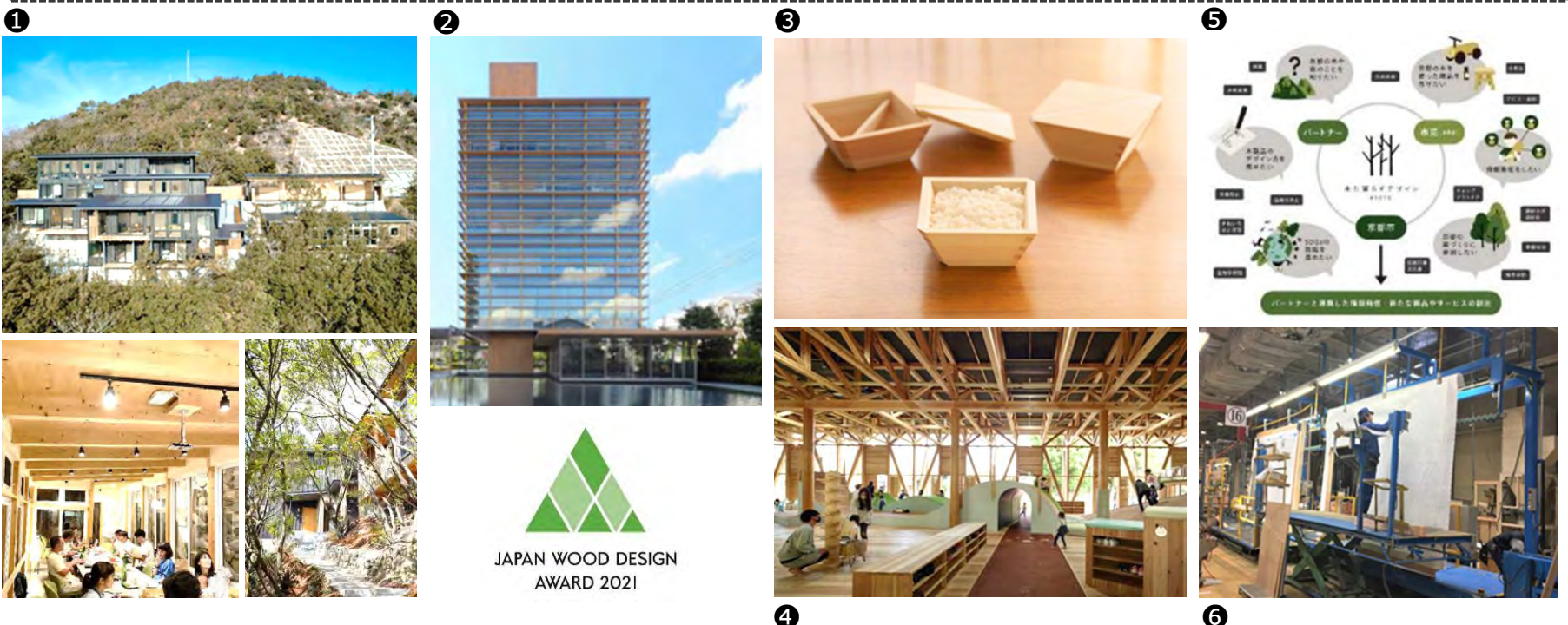
11月24日（水）

ウッドデザイン賞運営事務局

- 11月24日（水）、第7回を迎える「ウッドデザイン賞2021」の433点の応募作品の中から、最優秀賞（農林水産大臣賞）、優秀賞（林野庁長官賞）、奨励賞（審査委員長賞）の25点が最終選出され、最優秀賞（農林水産大臣賞）には、「URASHIMA VILLAGE」（株式会社金丸工務店ほか）となりました。
- 優秀賞（林野庁長官賞）の「ライフスタイルデザイン部門」には、「タクマビル新館（研修センター）」（株式会社タクマほか）、「木製の冷凍ご飯容器「COBITSU」」（有限会社大橋量器ほか）、「ハートフルデザイン部門」には「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」（各務原学びの森株式会社ほか）、「ソーシャルデザイン部門」には「木と暮らすデザインKYOTO」（京都市ほか）、「木造大型パネルによる製造・物流・施工の合理化技術」（ウッドステーション株式会社ほか）など、建築・空間／建材・部材、木製品、コミュニケーション、技術・研究の各分野から、優れた9作品が選出されました。奨励賞（審査委員長賞）には、3部門で15作品が選出されました。
- 「ウッドデザイン賞」は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。2021年度には、昨年度を越える433点の作品が応募され、その中から10月14日に191点が「ウッドデザイン賞2021」（入賞）として選出されています（次ページ記載の公式ウェブサイトご参照）。
- なお、12月8～10日（水～金）に東京ビッグサイトで開催される環境展示会「エコプロ2021」において、本年度の受賞作品の展示や「特別セミナー」を実施するとともに、最優秀賞等の上位賞の表彰式を12月8日（水） 12:30～13:10に行います。
- また、これまで7年間行ってきた「ウッドデザイン賞」の成果を活かし、異業種連携により、木材利用を通じた持続可能な社会の構築を目指す「一般社団法人日本ウッドデザイン協会」（会長：隈 研吾）の設立記念発表も、表彰式に引き続いて開催します（12月8日（水） 13:10～13:30）。

総評 赤池 学（ウッドデザイン賞2021審査委員長）

7回目を迎えたウッドデザイン賞は、応募数も昨年を上回り、クオリティも向上しました。今回の上位賞に見られるように、多様なステークホルダーの協働による、木材・森林利用の新たな価値創出の流れが台頭してきました。コロナ禍を受け、多くの人々が改めて、持続可能な森川里海が育む不易の価値に目覚め始めています。こうした地域の資源や文化を活かした良質な木造・木質空間による“おもてなしの場”のあり方を、生活者目線、消費者視点で構想し、新たな市場拡大と持続可能な社会構築に向けて実装して欲しいと思います。



【最優秀賞】「① URASHIMA VILLAGE」（株式会社金丸工務店ほか）、【優秀賞／ライフスタイルデザイン部門】「②タクマビル新館（研修センター）」（株式会社タクマほか）、
「③木製の冷凍ご飯容器「COBITSU」」（有限会社大橋量器ほか）、【優秀賞／ハートフルデザイン部門】「④KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」（各務原学びの森株式会社ほか）、
【優秀賞／ソーシャルデザイン部門】「⑤木と暮らすデザインKYOTO」（京都市ほか）、「⑥木造大型パネルによる製造・物流・施工の合理化技術」（ウッドステーション株式会社ほか）

「ウッドデザイン賞2021」概要

■賞の構成

- ① 最優秀賞 1点、② 優秀賞 9点（3点×3部門）、③ 奨励賞 15点（5点×3部門）：今回発表（上位賞）
④ ウッドデザイン賞（入賞）191点：10月14日に発表済み

■表彰部門

（1）ライフスタイルデザイン部門 ～木を使って暮らしの質を高めているもの～

木を使って機能性や利便性を高めている、新しい領域で木の活用が提案されている、消費者に木のある豊かな暮らしを提案している作品。

（2）ハートフルデザイン部門 ～木を使って人の心を豊かにし、身体を健やかにしているもの～

木を使って快適性を高める、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康増進効果がある、作り手や担い手のストーリーを伝えている作品。

（3）ソーシャルデザイン部門 ～木を使って地域や社会を活性化しているもの～

木を使って森林や地域の活性化に貢献している、持続可能な森林利用の仕組みをつくる、木材利用の意味を啓発したり、人材を育成している作品。

■応募分野・サブカテゴリ

- ① 建築・空間・建材・部材分野・・・店舗、施設、オフィス、住宅、建材・部材など
② 木製品分野・・・・・・・・・・家具、インテリア、食器、日用品・雑貨、文具、遊具など
③ コミュニケーション分野・・・・・・ワークショップ、プロモーション、人材育成、ビジネスモデルなど
④ 技術・研究分野・・・・・・・・・・技術、研究、調査、試作品など

■スケジュール

【応募期間】：2021年6月21日（月）～7月30日（金）

【ウッドデザイン賞（入賞）結果発表】10月14日（木）

【最優秀賞・優秀賞・奨励賞発表】11月24日（水）

【表彰式】12月8日（水）「エコプロ2021」特設ステージ（東京ビッグサイト）にて実施

【受賞作品展示・セミナー】12月8～10日（水～金）10:00～17:00 エコプロ2021「森と木で拓くSDGsゾーン」内に特設ブースを開設

※ 新型コロナウイルスの影響により、予定が変更にある場合があります。

■取材申込

以下の表彰式・特別セミナー及び日本ウッドデザイン協会設立記念発表をご取材頂ける場合は、以下宛で申込事項をご連絡頂きますよう、よろしくお願い致します。

【送付先】E-mail：press2021@wooddesign.jp（「ウッドデザイン賞2021」メディア専用窓口）

【申込事項】①氏名、②社名・部署名、③媒体名、④取材行事、⑤使用機材、⑥当日連絡先、⑦同行者名、⑧その他

※「エコプロ2021」内の各種行事の取材について

「エコプロ2021」への入場にあたり、事前の登録が必要となりますので、公式サイト（<https://eco-pro.com/>）をご覧ください。

◆「ウッドデザイン賞2021」表彰式

【実施日時】2021年12月8日（水）12:30～13:10

【実施会場】「エコプロ2021」内「特設ステージ」（東京ビッグサイト・東展示棟 1階 東3ホール）

【実施内容】来賓挨拶、最優秀賞（農林水産大臣賞）、優秀賞（林野庁長官賞）、奨励賞（審査委員長賞）賞状授与、最優秀賞受賞者挨拶、審査委員長講評、記念撮影等

◆「ウッドデザイン賞2021」特別セミナー

【実施日時】2021年12月8日（水）①14:00～15:15 ②15:30～16:45

【実施会場】エコプロ2021「森と木で拓くSDGsゾーン」内「ウッドデザイン賞」特設ブース（東京ビッグサイト・東展示棟 1階 東2ホール）

【実施内容】①『新価値・新産業創出に導く、SDGs・Withコロナ時代の「ウッドデザイン」』
②『審査委員が語る！SDGs・Withコロナ時代を拓く「ウッドデザイン」公開座談会』

【登壇者】① 最優秀賞、優秀賞受賞者から数名

鈴木 恵千代氏（建築・空間分野 審査委員）、赤池 学氏（審査委員長）

② 赤池 学氏（審査委員長）、鈴木 恵千代氏（建築・空間分野 審査委員）、益田 文和氏（木製品分野 審査委員）、古田 秘馬氏（コミュニケーション分野 審査委員）、伊香賀 俊治氏（技術・研究分野 審査委員）

◆同時開催行事／「日本ウッドデザイン協会」設立記念発表（表彰式に続けて同じ会場にて実施）

【実施趣旨】これまで7年間行ってきた「ウッドデザイン賞」の成果を活かし、異業種連携により、木材利用を通じた持続可能な社会の構築を目指して、新たに設立することとなった「一般社団法人日本ウッドデザイン協会」の設立記念発表を行います。

【実施日時】2021年12月8日（水）13:10～13:30

【実施内容】会長挨拶（一般社団法人日本ウッドデザイン協会 会長 隈 研吾）、来賓メッセージ、副会長・理事・監事等紹介、記念撮影

「ウッドデザイン賞」公式ページ

<https://www.wooddesign.jp/>

★最新情報を随時公開しています★

「ウッドデザイン賞」公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/wooddesignaward/>

ACCESS

●受賞作品に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」応募受付担当 E-mail：info2021@wooddesign.jp

※ 電話でのお問い合わせは受け付けておりません

●取材に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：ユニバーサルデザイン総合研究所 高橋、木俣）

E-mail：press2021@wooddesign.jp

※ 受賞作品に関する取材をご希望される方は、上記へご連絡をお願いいたします。

最優秀賞（農林水産大臣賞）



URASHIMA VILLAGE（株式会社金丸工務店、瀬戸内ビレッジ株式会社）

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

讃岐の山々と瀬戸内海が共存する全3棟の一棟貸し宿泊施設。唯一無二の絶景を生かした設計、どこにいても瀬戸内ビューを堪能。施設内各所に地域産の木材を使用し、利用者や地域の活性をもたらししている。地域の11の事業者の連携による、地域の資源と文化を活かした施設であり、多様なステークホルダーの参画、観光やワーケーションとの連動、環境への配慮などあらゆる点で優れた作品であり、最優秀賞にふさわしい。施設の各所に浦島伝説にちなんだ亀甲デザインを効果的に使いつつ、瀬戸内沿岸部に古くから使われる焼杉文化を取り入れるなど、ここを訪れた人々の記憶に残る魅力とストーリー性を兼ね備えた作品である。

優秀賞（林野庁長官賞）

●ライフスタイルデザイン部門



タクマビル新館（研修センター）

株式会社タクマ、株式会社竹中工務店、株式会社銘建工業、株式会社ストローク

建築・空間分野

内と外から木の意匠を見せる、先導的なオフィスの木造・木質化を「見せる」デザインであり、内部からは構造体としての木を感じさせることで温かみをもたらす、柔らかかつ洗練された建築である。木に囲まれつつ、光や風の取り込み方など、ワーカーにとっての快適性を追求している点も高く評価できる。



TRIAxis 須磨海岸

ICADA、株式会社linkworks、株式会社黒土建設、荒木美香

建築・空間分野

海の家という時限的な中規模施設に木造建築の良さを訴求した、意欲的な試みである点を評価した。屋根に使用したパネル材はCLTの製造過程で生じる巾はぎ集成板を使っており、それが軽やかで自然な風合いを醸し出している。地域のシーリゾート建築の良質なロールモデルとして期待できる。



木製の冷凍ご飯容器「COBITSU」

有限会社大橋量器、南地秀哉

木製品分野

家時間の長くなる昨今において、おいしく温かいご飯を食べたいというニーズにヒノキの機能性を使って応えた、まさにライフスタイル提案型の作品である。木杓の製造技術を活かし、食器のデザインとしても秀逸な作品で、温めてそのまま食卓へ出せる利便性も備える。木のある豊かな食卓を彩るアイテムとして高く評価した。

優秀賞（林野庁長官賞）

●ハートフルデザイン部門



KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE

各務原学びの森株式会社、株式会社井上工務店、飛驒五木株式会社、株式会社TAB
建築・空間分野

子どもが自由かつ安全に遊べる木製遊具と建築が一体化し、周辺の都市公園との親和性もある開放的で木の魅力溢れる空間である。子どもの感性を高め、身体性を伴う、質の高い木造施設だ。寒い時期や雨天の時でも、思い切り子どもが身体を動かしたくなるデザインの工夫が随所に読み取れる点が良い。

ザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園

三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計、MEC Industry株式会社、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
建築・空間分野

床材にトドマツ、外装のルーバーにタモなど、北海道産材の積極活用しながら、木質感を感じられる空間づくりに新たな技術を採用して、宿泊客にリラックスした時間を提供してくれるホテルのウッドデザインの良例と言える。上層3階を木造することで建築物としての重量を抑えるなど木を活かすメリットが考え抜かれている。

山男のガチャ

株式会社東京チェンソーズ
コミュニケーション分野

土産品としての木製雑貨は実に多く存在するが、単体ではなかなか売れない。玩具のガチャガチャをヒントに、木製プロダクトを製作、販売するというユニークなアプローチがとてもよく、何が出るかわからない楽しみもある。すでに多摩エリア等で30カ所以上に設置されており、山側への利益還元のための新たな試みとして評価した。

●ソーシャルデザイン部門



木と暮らすデザインKYOTO

京都市、株式会社サノワタルデザイン事務所
コミュニケーション分野

つなぐ、つかう、つたえるの3つのミッションから、現代の暮らしにマッチする木の使い方をデザイン、発信するプラットフォームを構築した、自治体によるビジネスモデル開発型の提案として評価した。多様な事業者やデザイナーと協働しクオリティの高いアウトプットを生み出している。



浜松料理 銀座樓

株式会社ドルフィンキッズプロダクション、しましま設計室、株式会社鈴三材木店、有限会社石牧建築
建築・空間分野

食と木材の地域資源活用と地域の魅力発信、地域の事業者の協働によるウッドデザイン開発の良例である。大径木の効果的な活用を含めた空間デザインのクオリティの高さも評価できる。地域材活用を川下と川上の協業によって効率化、高付加価値化させるシンボルモデルとも言える提案である。



木造大型パネルによる製造・物流・施工の合理化技術

ウッドステーション株式会社、大型パネル生産パートナー会
技術・研究分野

物件ごとに異なる木造大型パネルの生産効率化のため、情報処理、工場生産、現場生産を一体的に実行する新たなビジネスモデルである。地域材を活用した大型パネル生産と施工も可能で、施工の際の労働力削減で現場の負担も減らすことができる、木造化促進のための社会提案性のある取組である。

奨励賞（審査委員長賞）

●ライフスタイルデザイン部門



組子「麻の葉ちらし」シリーズ

株式会社タニハタ
建材・部材分野

匠の伝統技術を活かした、大断面の組子細工が美しい。18に及ぶデザインのバリエーションで、空間デザインの幅を広げてくれる。海外にも輸出できそうな日本の文化と技の表現が卓越している。



BAUM

株式会社資生堂、カリモク家具株式会社
木製品分野

ナチュラルかつサステナブルな素材への志向はさらに高まっている。木質系のコスメキットはそのひとつとして今後も広がりが期待できる。パッケージングとしてのデザイン性も高く、繰り返し使える点もよい。



Cryptomeria（Counter）

株式会社 九銘協
建材・部材分野

浮造り加工のデザインを活かし、耐久性と意匠性を両立させたシンプルだが機能的な部材の提案である。硬度向上によって杉材利用の広がりが見込まれ、飲食店やオフィスのカウンターなどにもニーズがありそうである。



patol stool（国産材シリーズ）

平山日用品店
木製品分野

アウトドア、キャンプなどの時代のニーズに応えるシンプルだが機能的な木製スツールである。組紐と木材の組み合わせで、たたむとフラットになり、軽さもあるので、可搬性に優れている。



TANZAKU Lamp

ストーリーオ株式会社
木製品分野

木目と曲線が生み出す独特の意匠は料理と一緒に運ばれてくると一層、美しさを感じさせるだろう。充電式のため、居室においても周辺がすっきりできる点もよい。

●ハートフルデザイン部門



AGRI CARE GARDENかすみがうら

株式会社里山建築研究所、株式会社AGRI CARE、医療法人AGRIE、株式会社三共建設、株式会社大崎材木店、株式会社ダイテック
建築・空間分野

施設に必要な機能として、木材の調湿性や保温性、香りや安全性を存分に活かした空間設計に好感が持てる。高齢者や障がい者の健康への配慮とともに、周辺の自然環境との調和もよい。



アイエスジーつくば支店

有限会社川久保智康建築設計事務所、アイエスジー株式会社、株式会社DAISHU
建築・空間分野

エネルギーを扱う企業としての地域での役割を担保するとともに、木質感の素晴らしさを巧みにデザインして、働き手や来訪客にも落ち着いた雰囲気を提供することに成功している。事務スペースとして使う、LVL架構の無柱空間は開放的で心地よさそうである。



津山信用金庫勝山支店

ofa、津山信用金庫、三和建設株式会社、有限会社桃李舎、株式会社アイ設計、銘建工業株式会社
建築・空間分野

木の持つ優しさや見える内装が、コミュニティへの親和性をもたらしている。コンパクトで我が家を思わせるような、気軽に通える地域に開かれた金融機関の施設として独創性がある。

●ハートフルデザイン部門（続き）



四日市市中央緑地スポーツ施設

株式会社久米設計、株式会社シェルター、四日市市、大成・中村特定建設工事共同企業体
建築・空間分野

木格子が圧巻のフォーラムは外光を取り入れることで、あたかも近隣の森を歩いているかのような印象を受ける。スポーツ施設としての動線や機能を満たしながら、木を使ったおもてなしの心に満ちた環境をつくりだしている。



令和2年度 大阪市立中央図書館地下1階左閲覧室一部レイアウト改修

大阪府森林組合、graf 有限会社デコラティブモードナンバーズリー、飛騨産業株式会社
コミュニケーション分野

森林組合、木材加工、デザイン・設計の3者が協働した、閲覧室の木質化のデザインと普及開発のワークショップを組み合わせた、社会提案性のある活動である。森林環境譲与税の活用による「地域の森の使い方」の自分事化の好例である。

●ソーシャルデザイン部門



ウッドアクション2021 つむつむ選手権

日本の森バイオマスネットワーク
コミュニケーション分野

木片を積み上げるというシンプルな遊びだが、人々の楽しむ様子が手に取るようにわかる良質な活動である。木で楽しむことをわかりやすく形にしている。1分という制限が余計に集中力を増すため、大人も夢中になるだろう。



cup of tea ensemble

cup of tea ensemble、飛騨産業株式会社、株式会社KRAFT ARCHITECTS、H inc.、株式会社田中工務店、柿BUSHI
建築・空間分野

意匠性にこだわった美しい木の宿泊施設で、地域景観に馴染みつつ、新しさも感じさせる。多様な樹種を使い尽くすというコンセプトのもと、デザインにこだわった宿は、旅の印象を深めてくれる空間となるだろう。



神水公衆浴場

ワークヴィジョンズ株式会社、黒岩構造設計事務所、竹味佑人建築設計室
建築・空間分野

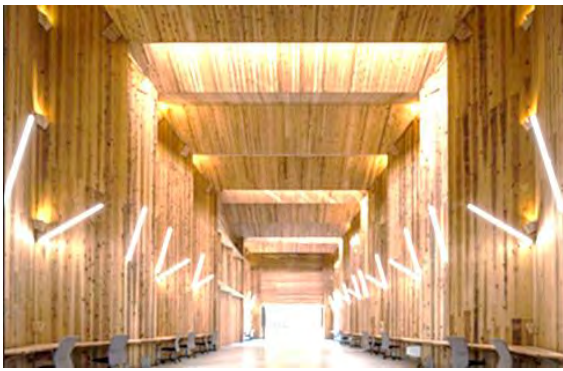
災害復興の面から個人住宅の風呂をコミュニティに開いたユニークな取組である。木に包まれた空間では阿蘇の水の湯に浸かり、コミュニティの拠り所となり、銭湯という交流空間の役割を現代に蘇らせた。



すべての人と森をつなげるmorinos

岐阜県立森林文化アカデミー
コミュニケーション分野

木を暮らしに取り入れたいと思うきっかけは、森を知り、感じるそこから始まる。プログラムに組み込まれたセルフビルドは参加者自身が場づくりに加わることで、家や学校、職場での木づくりにへの思いを持ち帰ってもらうための入口となるに違いない。



メルディア高機能木材研究所

公立大学法人北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科福田研究室、株式会社三栄建築設計、株式会社ジオクラスター
建築・空間分野

環境性能の面でも、デザイン的にも、薄板CLTの大胆な活用方法を見せた意欲的な試みである。壁や天井を木材の現しとしたことで研究施設にありがちな無機質な空間となることを避け、居住性を高めている点も評価したい。